



株主通信

第74期 中間報告書

(2020年1月1日~2020年6月30日)



TAMRON

株主の皆様へ



代表取締役社長 鯨坂 司郎

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第74期上半期の営業概要について、ご報告申し上げます。

当上半期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、社会情勢の混乱や経済活動の停滞が生じ、急激に悪化しました。特に、世界各地での緊急事態宣言の発動、外出禁止令や外出自粛要請、店舗閉鎖等により個人消費は深刻な影響を受け、関連市場であるデジタルカメラ市場においても、レンズ交換式カメラ、交換レンズ、コンパクトデジタルカメラが前年同期比で台数、金額共に約半減と大幅に落ち込みました。

このような状況の下、当社においても各セグメントにおいて減収を余儀なくされ、売上高は208億96百万円(前年同期比28.0%減)となりました。売上総利益率の改善や販管費を前年同期比12.5%削減する等、利益確保に注力いたしましたが、大幅減収に伴う売上総利益の減少を補いきれず、営業利益は8億28百万円(前年同期比63.2%減)、経常利益は11億64百万円(前年同期比54.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億43百万円(前年同期比56.3%減)となりました。

配当金について

中間配当金につきましては、当上半期は大幅な減収減益となりましたが財務状況等を総合的に勘案し、前年と同額となる1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年8月

1月 **写真関連**
「寄れる」ソニーEマウント用超広角単焦点レンズ 20mm F/2.8 Di III OSD M1:2 (Model F050)を発売



2月 **受賞**
第23回環境コミュニケーション大賞において「優良賞」を受賞



3月 **認定**
「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に初認定



4月 **受賞**
SP 35mm F/1.4 Di USD (Model F045)が世界的に権威のある「TIPAアワード」を受賞
タムロンは7年連続での受賞を達成



5月 **写真関連**
世界最小・最軽量*ボディに高速・高精度AFを実現した大口径望遠ズームレンズ70-180mm F/2.8 Di III VXD (Model A056)を発売
*35mm判フルサイズ対応のF/2.8 AF望遠ズームレンズにおいて。(2020年3月現在。タムロン調べ)



6月 **認定**
「SOMPOサステナビリティ・インデックス」構成銘柄に選定



開発情報
[VXD (Voice-coil eXtreme-torque Drive)]を新開発

VXDはタムロン初のリニアモーターフォーカス機構です。高速で動作するとともに、髪の毛1本分の1/10以下である0.005mm単位で位置精度を確保。かつてない高速・高精度AFを実現しました。望遠ズームレンズで狙うことの多い、スポーツや乗り物などに対するフォーカス追従性も大幅に向上しており、静止画はもとより動画撮影でも迫力の一瞬を逃すこと無く捉えます。静粛性についても、リニアモーターは従来の駆動方式と比べてAF駆動時の振動が発生しにくく、モーター音が静かなため、静かな環境下での撮影にも最適です。



新製品発売
ソニーEマウント用28-200mm F/2.8-5.6 Di III RXD (Model A071)を発売


これまで培ってきた高倍率ズームレンズの技術力やノウハウを注ぎ込み、ソニーEマウント用の28-200mm F/2.8-5.6 Di III RXD (Model A071)を発売しました。高倍率ズームとしては世界初*となるF2.8スタートの明るさを確保。広角端28mmから望遠端200mmにいたるズーム全域においても高い描写性能を実現します。幅広い焦点距離をカバーしながらも、サイズは長さ117mm、質量575gと軽量・コンパクト。日頃の持ち歩きはもちろん、荷物の負担を減らしたい旅先でも高い利便性を発揮します。本レンズは光学性能にもこだわり、特殊硝材LD (Low Dispersion:異常低分散) レンズやXLD (eXtra Low Dispersion) レンズを贅沢に使うことで諸収差を大幅に抑制。画面の周辺部分まで高画質な写りを可能としました。また、最短撮影距離は広角端で0.19m、望遠端で0.8mと高い近接撮影能力を持つほか、AF駆動には高速・精密なステッピングモーターユニット [RXD (Rapid eXtra-silent stepping Drive)] を搭載。簡易防滴構造や防汚コートなども採用し、快適な撮影をサポートします。



*現行のレンズ交換式高倍率ズームレンズ(ズーム比7倍以上)において。(2020年5月現在。タムロン調べ)

お知らせ
第17回 タムロン・マクロレンズ フォトコンテスト開催中

写真好きの方に、マクロレンズ撮影の楽しみ方を伝えることを目的として開催しているマクロレンズ フォトコンテストも今年で17回目を迎えました。2004年の第1回が開催されて以来、マクロレンズならではの世界観や新しい表現など毎年数多くの素晴らしい作品を応募いただいています。植物や虫などの「ネイチャーの部」と、人物やテーブルフォトなど、ネイチャー写真に限らず広く対象とする「ノンジャンル」の2部門を設けています。今年は各部門に、グランプリ、金賞、銀賞、銅賞、入選、タムロン賞の他に「ハーフマクロ賞」を新設し、より多くの作品を募集しています。



最新情報
新製品紹介
世界初*のF2.8 スタート、ソニーEマウント用高倍率ズームレンズ新発売
28-200mm F/2.8-5.6 Di III RXD (Model A071)



NEW

*現行のレンズ交換式高倍率ズームレンズ(ズーム比7倍以上)において。(2020年5月現在。タムロン調べ)

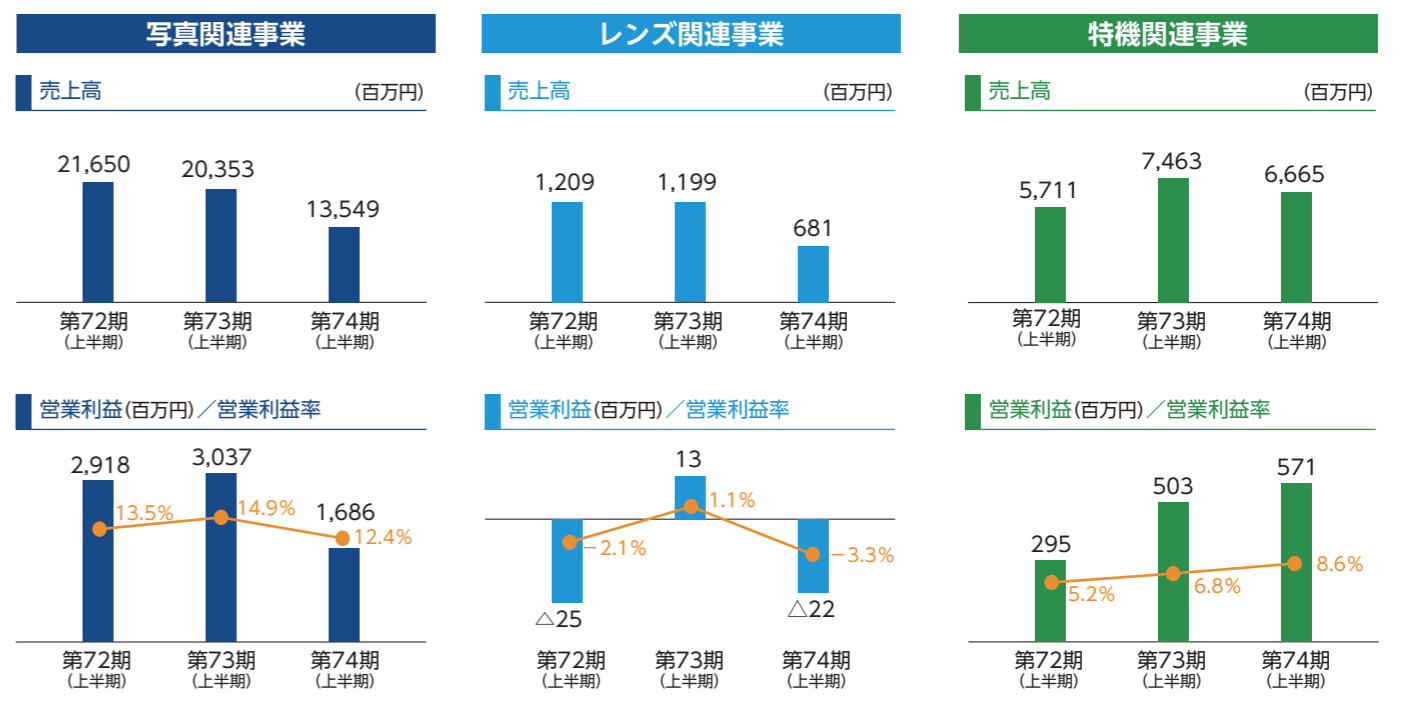
受賞
2機種同時受賞 15年連続EISAアワード受賞達成
70-180mm F/2.8 Di III VXD (Model A056)



28-200mm F/2.8-5.6 Di III RXD (Model A071)



セグメント別事業の概況



セグメント別売上高構成比

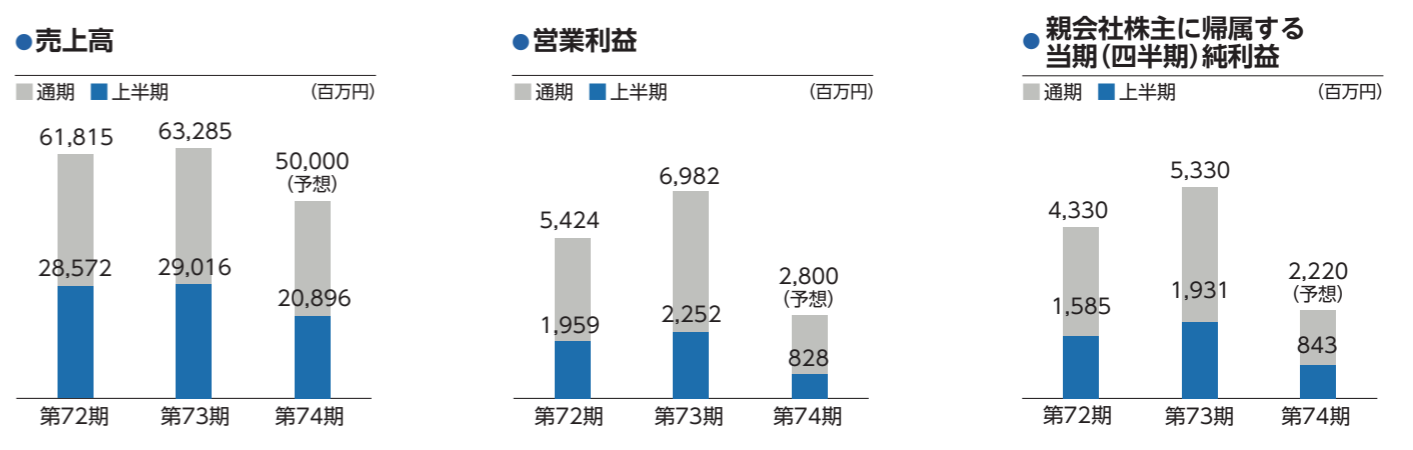
- 写真関連事業: 64.8%
- 特機関連事業: 31.9%
- レンズ関連事業: 3.3%

写真関連事業
自社ブランド交換レンズでは、35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応の大口径ズームレンズである2019年7月発売の超広角ズームレンズ17-28mm F/2.8 Di III RXD (Model A046) や2020年5月発売の望遠ズームレンズ70-180mm F/2.8 Di III VXD (Model A056)、2019年末から2020年初めにかけて発売した35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応の「寄れる」単焦点シリーズ3機種等が売上高に寄与しました。しかしながら、世界各国での外出禁止令や外出自粛要請、店舗閉鎖、各種イベント中止等の影響により、自社ブランド、OEM共に減収となりました。

レンズ関連事業
コンパクトデジタルカメラやビデオカメラ用レンズはスマートフォンの台頭による市場縮小が継続していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大影響も加わり市場が大幅に落ち込んだことに伴い減収となり、ドロウン用レンズも受注機種の販売が伸び悩みました。

特機関連事業
車載カメラ用レンズはセンシング用途での販売増により増収を確保いたしました。監視やFA/マシンビジョン用等の産業向けでは、新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、主に中国でのプロジェクト案件やカメラメーカーの稼働が停滞したことに加え、米中貿易摩擦の影響等によるカメラモジュールの販売減もあり、減収となりました。

連結財務ハイライト



会社概要

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円

役員

代表取締役社長	鯨坂 司郎
取締役副社長	桜庭 省吾
取締役副社長	阿保 正行
常務取締役	増成 弘治
常務取締役	北爪 泰樹
常務取締役	大塚 博司
常務取締役	張 勝海
取締役	大谷 真人
取締役	岡安 朋英
取締役	佐藤 勇一*
取締役	片桐 春美*
常勤監査役	手塚 努
常勤監査役	平山 隆志*
監査役	利根 忠博*
監査役	奈良 正哉*

注1. ※印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 2. 当社は、取締役 佐藤 勇一、取締役 片桐 春美、監査役 平山 隆志及び監査役 奈良 正哉を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に
 対し届け出しています。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で 行っております。
公告方法	電子公告 ※ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本 経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ https://www.tamron.co.jp

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ソーシャルメディア 公式アカウント

	https://twitter.com/TamronJP タムロン製品・サービスに関する最新情報やイベント情報、企業情報など幅広い情報をいち早くお届けします。
	https://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom 写真レンズに関する製品情報、最新のPRコンテンツ紹介、フォトコンテストや各種イベント・キャンペーン情報を発信しています。

	https://www.instagram.com/tamronjp/ タムロンレンズで撮影された写真をアップしていきます。ユーザー参加型のイベントの他、#tamronを付けて投稿頂いた写真には積極的にいいねさせていただきます。
	https://www.youtube.com/user/tamronpr CSR活動や、タムロンのものづくり、写真家による製品レビューなど、タムロンの取り組みを動画で発信しています。

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,950,000株
単元株式数	100株
株主数	4,446名 ※単元未満除く

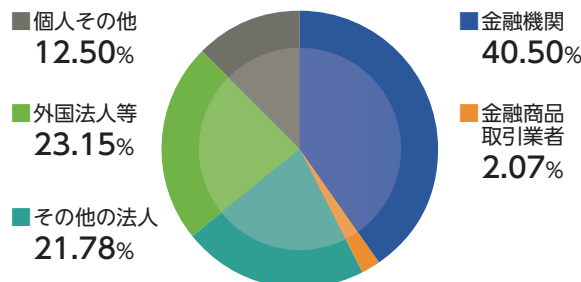
■大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
株式会社ニューウェル	4,898	18.89%
ソニー株式会社	3,129	12.07%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,535	5.92%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,309	5.05%
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.33%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	658	2.53%
日本生命保険相互会社	580	2.23%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	464	1.79%
GOVERNMENT OF NORWAY	413	1.59%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	330	1.27%

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

■株式所有者別分布

※単元未満除く



ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- CSR情報
- 採用情報

- IR情報
- サポート・ダウンロード

コーポレートサイト

URL <https://www.tamron.co.jp>



フォトサイト (写真レンズ用フォトサイト)

URL <https://www.tamron.jp>



株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
 TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <https://www.tamron.co.jp>
 ■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室
 TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282
 e-mail : kabushiki@tamron.co.jp



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。